

プール時 マニュアル

《事故が起こった時》

プールサイドの転倒事故

- ① 子どもの状態を確認
- ② 園 長 に 連 絡
- ③ 応 急 処 置
- ④ 保 護 者 連 絡

※『子どもの事故・けがが起きた場合のマニュアル』に従う

溺水の場合

- ① 子どもの救出(気づいた人)
- ② 子どもを運ぶ(1人)
→職員室内へ
- ③ 園長に連絡(1人)
- ④ 必要に応じてすぐに人工呼吸を始める
AED等の初期救命対応
- ⑤ 状況に応じて救急車の手配
- ⑥ 保護者に連絡

《事故・感染症予防の手立て》

- ・ 入る前の子どもの健康状態を視診、触診する。
- ・ 心配な子どもの健康状態(熱の有無、感染症等)を保護者から聞いたり、連絡帳で確かめる。
- ・ プールカードでの確認をしっかりと行う。
- ・ プールでの遊び方、やってはいけない事について子どもに話し聞かせる。
- ・ 体操をしっかりする。
- ・ 体を洗い、消毒してから入る。
- ・ 監視者(1人)は監視に専念する。
- ・ 動かない子どもや不自然な動きをしている子どもを見つけたら、声を掛ける。
- ・ 十分な監視体制が確保できない場合は、プールの中止も考える。
- ・ 時間に余裕を持ってプール活動を行う。
- ・ 子どもから目を離さない。
- ・ 持ち場を離れる時は、必ず他の保育者に声を掛けてから離れる。
- ・ 15分後の子どもの様子をチェックする。

プールカードの忘れ
プールカードの記入忘れ
道具(帽子を含む)の忘れ



プール活動は行えない

※基本的に事故の際は担任が対応し、他の職員が残りの子どもの対応をする。が、その場の状況に応じて臨機応変に対応していく。